

学校便り チャレンジ (Challenge)

第 10 号

令和 7 年 9 月 1 日 (月) 文責 : 校長

家田湿原ボランティア清掃 !

24 日 (日) に家田湿原ボランティア清掃に地域の方と一緒に参加してきました。

残念ながら大会等が重なり、教職員も含め 20 名ほどの参加でした。外来生物のオオフサモとウォータバコパの除去が大きな目的でしたが、今年は意外と少なく 1 時間あまりで終了しました。蒸し暑い中頑張った生徒に、家田湿原保存会の皆様からおにぎりと飲み物、市からウィーダーゼリーの差し入れをいただきました。11 時から家田公民館で焼き肉の振る舞いもあり、親交を深めることができました。ありがとうございました。また、今年は、家田湿原ボランティアと校区内クリーン作戦の長きに渡る活動が認められ美しい宮崎づくり県知事表彰で「水と緑の景観賞」をいただくことになりました。コツコツと地道な地域貢献活動が実を結んだ結果ですね。



2 学期に向けて !

終業式の日に VUCA (ブーカ) の話をしましたね。これは「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」のことです。その中で、身につけて欲しい力として、正しい情報を素早く入手し、その情報を自らの頭で考え、判断する力 (クリティカル・シンキング) でしたね。

さらにそれに付け加え必要となる力は環境に柔軟に適応する力だと思います。

大きな視点で見ると地球の温暖化現象です。最近は毎年、今までで一番暑い夏でしたといわれながら、毎年更新されています。10 年後を想像するのが恐ろしくなります。この暑さにより、作物や動物の成長にも影響を与え、物価の高騰にもつながっています。これからは、高温に適する作物や高温に負けない作物の品種改良が必要になってきます。そこまで考えて欲しいですね。また、3 年生は、半年後には、高校への進学を控え、大きく環境が変わります。小さな環境の変化としては、新学期のスタートです。夏休みに生活習慣が乱れ、不規則な生活を送ってきた生徒にとっては、朝起きるのから、登校して 1 日を過ごすことからつらいかもしれませんね。早く自分のリズムを取り戻し、環境に柔軟に適応していきましょう。その力を身につけることが、将来のウェルビーイング にもつながっていきます。

今学期には、北川中学校が大きく飛躍するための新たなチャレンジを計画しています。各学年による文化発表会、地域を巻き込んだ体育大会、そして、1 年生による家田湿原駐車場の花壇製作、2 年生のビオトープ整備、3 年生の家田湿原駐車場での桜の記念植樹、全校でのホタルの育成など、です。どれも自分たちで作りだすワクワクする活動ばかりですね、自然の保護だけでなく自然を創生し、再生する内容です。新しい北川中の歴史のスタートです。みんなで力を合わせて頑張りましょう。さらに今年の 6 月にユネスコスクールにも認定されました。持続可能な開発のための教育 (ESD) について考え、次年度以降も継続できるようなチャレンジをしていきたいですね。県内では綾中に次いで 2 番目です。延岡高校も認定されたので、何か交流ができないかを考えています。

